

大河ドラマ誘致推進漫画作品「ぼくらの義仲物語」より

まんがでわかる 木曾義仲

第3回 源氏と平家

共に天皇家にルーツを持つ源氏と平家。両家の争いにより、貴族の時代は終わりを告げ武士の時代が幕を開けます。

源氏と平家が敵対した始まりを調べてみたけど、すごい複雑だね。

同じ源氏でも、義仲と頼朝は別行動やし。

義仲は以仁王に従って打倒平家を掲げたけど、実は単純に源氏VS平家！ってわけじゃなかったんやな。



1 保元の乱(1156年)

崇徳上皇と後白河天皇の皇位継承をめぐる争い。武士の力が利用され、上皇側天皇側いずれも源氏と平家が共闘していた。



2 平治の乱(1159年)

保元の乱で共に勝者となった源義朝と平清盛が、今度は貴族の権力争いに力を貸し対立。勝利した清盛の権力が大きくなるきっかけとなった。



3 治承・寿永の乱 (1180~1185年)

打倒平家を掲げ、木曾義仲や義朝の子源頼朝が各地で挙兵。最終的には奥州以外の日本中の平氏、源氏、その他の地方武士が複雑に絡む三つ巴の騒乱に。



「平家にあらずんば人にあらず」だなんて、そりゃ「驕れる者久しからず」になるよね。



武士の時代の幕開け せめぎ合う源氏と平家

源氏と平家は共に朝廷を支える存在でしたが、天皇家や貴族などの権力争いに端を発し、相争うようになります。1159(平治元)年「平治の乱」において源義朝と平清盛が武力衝突した結果、清盛が勝利し、その後平家が政治の実権を握っていきます。

しかし平家は一門の繁栄のみを追求し、庶民の苦しい生活や他の氏族を顧みなかったことから、全国的に反平家の機運が高まります。そんな中、平清盛にその座を追われた後白河法皇の皇子である以仁王が平家追討の令旨を発したことにより、一度は平家に敗れた源氏が再び立ち上がり、激しい源平の騒乱が繰り広げられることになります。

次回予告 あさひ「義仲もこの争いに巻き込まれてったわけか。やるからには勝ってほしいけど…どうなるんやろ。」